

令和5年度第1回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立金岡高等学校
校長名	高崎 克司

開催日時	令和5年7月21日(木)14:00～15:30
開催場所	大阪府立金岡高等学校 校長室
出席者(委員)	山東委員 西川委員 青島委員 西村委員 加治屋委員
出席者(学校)	高崎校長 石川事務長 澤田教頭 門内首席 藤本首席 海老原教諭(進路指導部長) 松本展教諭(第三学年主任) 高木教諭(第二学年主任) 農端教諭(第三学年主任)
傍聴者	なし
協議資料	学校運営協議会実施要項 R5年度学校経営計画 スクール・ポリシー案提出用紙 スクール・ミッション、スクール・ミッション説明資料 環境人材育成支援事業実施計画書 進路指導部資料 学年通信 教科書採択資料 学校パンフレット
備考	

議題等(次第順)	
<p>1) 令和5年度学校経営計画について</p> <p>2) スクール・ポリシーについて</p> <p>3) 今年度の取組について</p> <p>4) 今春の進路結果および経年変化について</p> <p>5) 各学年より近況報告</p> <p>6) 令和6年度採択教科書について</p> <p>7) その他</p>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>会長(議長)の選出と職務代理の指名(実施要項第9条)</p> <p>会長は山東委員に決定 職務代理者(副会長)は西川委員に決定</p> <p>実施要項第4条(保護者からの意見)に係る報告</p> <p>現時点において、保護者からの意見はない</p> <p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年度の確定数値に進路結果など年度末で確定するものに変更あり ・めざす学校像が大きく変更、「0+1(ゼロ・プラス・ワン)」から「愛し愛され・金岡力」へ ・継続性もあるため、中期的目標について大きな変更はない ・オーストラリア語学研修は今年度も実施できず。英語の発表機会を増やすため代替の取り組みを検討→国内語学研修を企画したが、実施人数に満たなかった。 ・英語を用いた何らかの発表の機会を別途考えていきたい。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語学研修の3校実施の他2校はどこか。 <p>→高石高校・美原高校、美原高校は今後統廃合等の懸念もあるため外れたいとのこと。今後新たな枠組みでの実施も検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIの問題について、生徒たちはAIを使って何かしていることはあるか <p>→実際に使っている生徒はあまりいない。使い方の注意などしていく必要がある。</p>	

2)

- ・スクール・ポリシー案(グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー含む)の報告
- ・スクール・ミッションの確認

(意見)

- ・APで学校の概要「次の1)～4)に向けて…」というものを中学生が見た時に、地味な印象を受けるのでは。
→あえて入れた文言である。入試タイプを当日の学科試験重視であるⅠ型からやや調査書重視するⅡ型に変更した。当日1回の試験ではなく、中学校3年間でしっかり取り組んでいる生徒に、高校にきてからも3年間しっかり取り組んでほしいという意図がある。
- ・「中学校の内申を考えます」という一文の方がいいのでは
→直接的な表現はできない
- ・3年間努力してきた生徒を望むのは良いことであると思うが、汎用的能力の中にはITなどを駆使して効率よく作業していく力の中で「コツコツ」という表現が適切かどうか。ジェネリックスキルが学べるという中で、金岡で学べばジェネリックスキルが身についてどんどん成長できるという説明の方が対外的には良いように思う。
→入学時から学習習慣がどんどんおろそかになって、入学時より進学するにつれて勉強時間が減っていくという状態になっている。中学校で継続してきちんと取り組むことができた生徒に入ってきてもらい、金岡高校でもその姿勢を継続してもらうことでさらに自分の進路実現ができるということを意識して入れた。中学生が見る文章なので、わかりやすく表現した。
- ・1～4)のことができる生徒は、なかなかいないのではないかと。目標として高くないか。たとえば、本文の中で1)「自己と他者と…立場を理解して行動できる生徒、であるととても素晴らしい生徒になるので、文末を「しようとする生徒」にした方がよいのでは。同様に4)でも進みだすことができる生徒、というのも敷居が高いので、学校に入ることと相談できる相手がいるという意味も含めて「相談できる生徒」というようにするのはどうか。「報告・連絡・相談」がジェネリックスキルのなかで大切なことだと思う。
→そのような意欲のある生徒に入ってきてもらいたいという意味であるが、表現はもう一度考えてから確定したい。

3)

- ・令和5年度 環境人材育成支援事業実施計画書の報告
- 堺市と連携して身近にある問題を解決するという共同研究、最終的には成果発表会を行う。2学期から実施予定。
- ・情報Ⅱの授業で、ICTの中でのコミュニケーションとして情報モラルの取り組みの一環として「情報モラルカルタ」を作成。情報モラルについて標語を作成した。

(意見)

- ・環境人材育成について、施設の見学等はあるのか
→昨年度はクリーンセンター堺に行ったが、生徒たちも小学生のときに行ったことがあり、説明もほとんど同じだったので、今年度は堺市の職員に直接きていただいて、ゴミの処理や分別について、講演やディスカッションを考えている。
- ・情報モラルかるたについて、金岡高校として良い取り組みであるので、いろいろなところへ取組みや成果を発信してもらいたい。

4)

- ・40期生から47期生までの進路状況の推移について報告

(意見)

- ・今年度「阪南大学」「四天王寺大学」が激減しているが何か理由があるのか。
→四天王寺大学希望者は教員希望者が多いが、47期生は教員志望者が少なかった。それは大阪体育大学の受験者数にも関わっている。阪南大学は女子特別入試もあって男女比もやや偏りがあるが、興味のある生徒もいる。

5)

・各学年より報告と学年通信の提示

1年生「当たり前」の事を「当たり前」に遅刻者少ない、自転車マナーも良い、クラブの加入率は60%弱

2年生11月に修学旅行-石垣島(2泊3日)

3年生夏期講習

(意見)

・自転車のヘルメットの努力義務について、学校としてヘルメット着用の指導はどのようにしているのか

→努力義務ということはアナウンスしているが、現在、特に着用を進める指導はしていない。しかし、自主的につけている生徒は増えてきている。

・ヘルメットはどこに置いているのか。なくなるのか

→自転車に直接かけている。なくなる

・ヘルメットの着用について強く呼びかけている学校もあると聞いている。その結果受験を控える中学生もいるらしい

・雨天時の自転車通学の様子はどうか

→雨天時のカッパの着用については、昨年度にかなり着用率をあげることができ、現在、100%に近い状態になっている。

次回の会議日程

日時	令和5年12月15日(金)14:00~
会場	大阪府立金岡高等学校 校長室